



JAL不当解雇撤回ニュース

No392号 2014.08.01
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

逆転勝利めざし7月も集会に宣伝行動に



7月2日 = JALプラザ前で宣伝行動

8:30からの東京争議団の裁判所前宣伝行動後、10:30から有楽町の JAL プラザ前で宣伝行動を実施。トランペットの演奏で宣伝行動はスタート。JAL プラザの社員も注目する中で、宣伝カーから訴え、チラシを配布しました。この日は通行量も多く、並んだのぼり旗も目立ち、大いにアピールすることが出来ました。

枚のピラを配布、署名は10筆以上集まりました。18:00から静岡労政会館で判決報告集会。宣伝行動から集会まで、原告団からは山口乗員原告団長以下4名が参加しました。

7月4日 静岡で宣伝&集会

15名が参加し、静岡駅前のけやき通りで街宣行動。300

新潟県内オルグ、そして7月5日には集会



6月30日～7月5日までの6日間、新潟県出身の原告2名と新潟支援共闘会の方々と一緒に県内の労組や民主団体を訪問し、今日までの支援のお礼とともに、高裁の不当判決の報告をするとともに、最高裁宛て署名、そしてカンパ等、引き続き支援を訴えて回りました、県内オルグの最終日は決起集会。集会では堀弁護士が高裁判決の内容と問題点を報告、津恵国民共闘事務局長が連帯のあいさつ、客乗



原告内田さん、加藤さん、乗員原告の齋藤さんが決意表明を行いました。県労佐佐藤議長の閉会のあいさつ後、山崎支援共闘会議議長の音頭で団結ガンバロウを三唱。最高裁での逆転勝利と職場復帰に向けて奮闘することを誓いました。

7月9日 日航本社前で宣伝と要請行動

9日、定例の日航本社前宣伝・要請行動を実施しました。雨の中70名が参加し、日航に不当解雇撤回に向けてILO勧告に従い話し合いをもつこと、そして安全運航の確立を求めました。



7月11日 最高裁前、そして蒲田駅で

最高裁前での宣伝行動と要請行動を実施しました。主催は東京争議団。JAL 不当解雇事件については現在、裁判所に提出する上告理由書を作成中であり、裁判記録等の書類は高裁にあり、まだ最高裁には送られていませんが、最高裁判所宛てに慎重な審理と公正な判断を求めて要請行動を実施しました。

18時からJR蒲田駅にて宣伝行動、大田の労働組合や民主団体とともに、不当解雇撤回とともに雇用破壊をもたらす労働法制の改悪を阻止しようと訴えました。

7月15日 新宿駅南口で宣伝行動

新宿駅南口にて定例の西部全労協の宣伝が実施されました。JAL 原告も参加し不当解雇撤回闘争への支援を訴えました。

7月8&22日 羽田空港でJALのお客様に

7月は8日と22日の2回、羽田空港にて日本航空を利用するお客様に対してチラシを配布し、支援を訴えました。

7月23日千葉で集会 170名が参加

23日には、会場一杯の約170名が参加し「JAL東京高裁不当判決報告・決起集会inちば」が開催されました。主催はJAL不当解雇撤回支援ちば実行委員会。主催者を代表し、弁護団の一員でもある中丸弁護士があいさつ。中丸弁護士は更生計画を絶対視した不当判決であると糾弾、判決の内容と問題点の報告に立った安原弁護士も、削減目標を達成していたのか否か認定しないまま解雇を正当化し、ここが高裁



判決の最大の問題であり最大の弱点であるとのべ、最高裁で必ず逆転勝利つかもうと、一層の奮闘を呼びかけました。集会では国民共闘の共同代表である金澤全労協議長、支える会柚木事務局長、千葉労連松本議長、国労千葉地本の坂口委員長、反失業共闘の小柳代表がともに闘う決意を表明をしました。また原告を代表し、パイロット飯田副団長、客乗内田団長がそれぞれ決意表明を行いました。

7月23～25日 兵庫キャラバン

宣伝行動に集会、そしてオルグ等、7月23～25日の3日間、「兵庫キャラバン」が実施されました。23日は姫路、24日は尼崎、そして25日は神戸とまわりました。街頭宣伝ではマイク宣伝とチラシの配布、そして最高裁宛ての署名への協力を訴えました。



25日愛媛、28日上越 30日岡山で集会

7月25日には愛媛で、28日には新潟県の上越で、そして30日には岡山で高裁の不当判決の内容と問題点を報告する決起集会が開催されました。

これまで、判決報告等の集会は、神奈川、京都、愛知、大阪、兵庫、東京、福岡、静岡、新潟、千葉と開かれており、そして、愛媛、上越、岡山と、全国13カ所で開かれています。

一斉宣伝、そして、最高裁宛て署名に協力をお願いします

JAL不当解雇撤回国民共闘は、毎月29日を「JALデー」として、各地での一斉宣伝の実施を呼びかけています。

また新たに取り組みとして最高裁宛ての署名(個人と団体の2種類)も始めました。

みなさんの協力を訴えます。